新潟市骨粗鬆症医科歯科診療連携マニュアル

目　　的

医科歯科の連携による骨粗鬆症治療、歯科治療の健全化

１．医師、歯科医師の顎骨壊死について正しい理解

２．顎骨壊死について患者さん、地域住民への啓発

３．口腔健康管理（口腔ケア）の普及

４．薬剤関連顎骨壊死の予防

５．骨粗鬆症治療の円滑化

基本原則

１．抜歯が必要な場合は休薬を待たずに抜歯可能

２．ビス剤及びデノスマブ投与開始前に、積極的な口腔ケアを考慮すべき

連携の実際

医科から歯科への情報提供する場合

① 歯の痛み、抜けそうな歯、があるが歯科未治療の患者

② 骨粗鬆症治療中で、抜歯を申し出ている患者

③ 歯周病の疑いが強い患者

（別紙「歯周病セルフチェック」、

もしくは https://www.8020zaidan.or.jp/trouble/shisyu.html を参照）

歯科から医科への情報提供を依頼する場合

① 歯科治療中で顎骨壊死の疑いまたはリスクの高い患者

② 抜歯をする患者で骨粗鬆症治療中

別紙

歯周病セルフチェック
あなたは大丈夫？

8020推進財団

歯周病は歯を失う大きな原因であり、さまざまな体の病気とも深いかかわりがあります。次のようなチェックで早めに見つけて対処しましょう。

歯周病セルフチェック

次の項目の当てはまるものに、チェックしてみてください。

- ☐ 歯ぐきに赤く腫れた部分がある。
- ☐ 口臭がなんとなく気になる。
- ☐ 歯ぐきがやせてきたみたい。
- ☐ 歯と歯の間にものがつまりやすい。
- ☐ 歯をみがいたあと、歯ブラシに血がついたり、すすいだ水に血が混じることがある。
- ☐ 歯と歯の間の歯ぐきが、鋭角的な三角形ではなく、うっ血していてブヨブヨしている。
- ☐ ときどき、歯が浮いたような感じがする。
- ☐ 指でさわってみて、少しグラつく歯がある。
- ☐ 歯ぐきから膿が出たことがある。

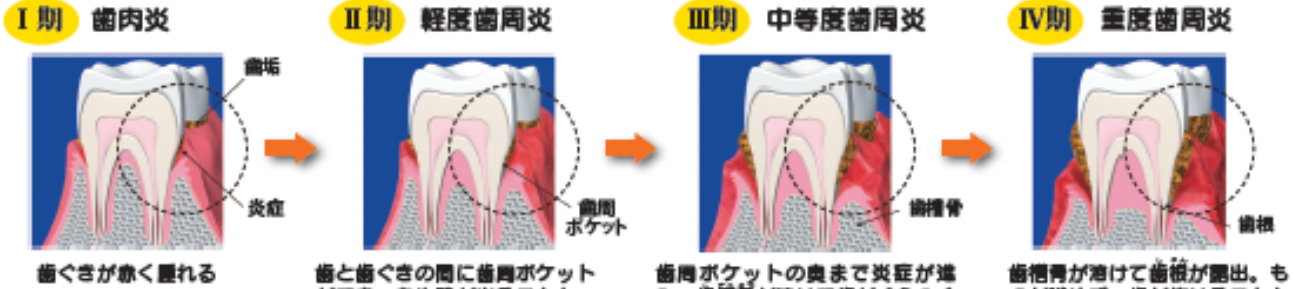
《判定》

チェックがない場合
これからもきちんと歯みがきを心がけ、少なくとも１年に１回は歯科健診を受けましょう。

チェックが１～２個の場合
歯周病の可能性があります。まず、歯みがきのしかたを見直しましょう。念のため、かかりつけの歯科医院で、歯周病でないかどうか、歯みがきがきちんとできているか、確認してもらったほうがよいでしょう。

チェックが３～５個以上の場合
初期あるいは中等度歯周炎以上に歯周病が進行しているおそれがあります。早めに歯科医師に相談しましょう。

歯周病は静かに進む



公益財団法人　8020 推進財団
http://www.8020zaidan.or.jp/